

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」

公表日 R7年2月21日

利用児童数 26

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			2	・子どもが参加している様子を実際に見たことがないため分かりません。すみません。 ・見学した際にいるような部屋があるので十分確保されている。 ・保育中の様子を見た事がない為	・活動スペースは、十分に確保されています。今後は開放日等を設け保護者に見てもらいます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			7	・今現在の職員の方々の配置数が不明のため適切な判断できない。 ・子どもが参加している様子を実際に見たことがないため分かりません。すみません。 ・保育中の様子を見た事がない為	・人数配置は基準を満たしています。安心安全な環境の中で支援を行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			2	・子どもが参加している様子を実際に見たことがないため分かりません。すみません。 ・事業所の設備等についてはわからない	・全室バリアフリーになっています。構造化や視覚支援は専門職のアドバイスを基に実施しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15			2	・子どもが参加している様子を実際に見たことがないため分かりません。すみません。	・毎日、清掃・消毒を行っています。活動・保育内容に合わせたスペース調整をしています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1	・保育中の様子を見た事がない為	・定期的な支援計画を作成し教育を行っています。専門職派遣も行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		・今後は福祉ソフトを通して公表していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					・保護者の方からいただいた要望とサービス等利用計画の内容を踏まえて作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		・現状を常に確認し、具体的な支援目標と支援内容をお子さんに合わせて計画しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			2	・保育活動や遊びを通して出来る事が増えたりしている。気持ちを表現する事が増えてきた事も連絡帳や先生方の話で知る事が出来ているので大変助かります。 ・保育中の様子を見た事がない為	・保護者・子どもの要望を受け止め、目標達成に向けて支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	3		3	・こちらの認識不足でもあります。	・毎日、楽しく活動に参加してもらえるよう、今後も見直し、工夫して参ります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	5	・公園で他の子供を見かけたり話しかけられる事がたまにありますが、一緒に活動は難しく表情・動きが止まってしまうようになります。 ・こちらの認識不足でもあります。	・今後は、このような機会を作りたいと思います。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					・契約時に行っています。今後も丁寧な説明を継続していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					・今後も、保護者の方に承知して頂き、丁寧な説明を継続していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	4	3	・もしあれば教えていただきたいです。 ・研修会等はないが、送迎時にアドバイス等いただいた事はある。	・おしゃべり会や保護者向けの研修など計画していきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	3			・通所日数の少なさもあります	・今後も連絡帳や対面時に伝えさせていただきます。コミュニケーションを図り、共通理解ができるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	5		・頻りに面談があるわけではないが、何かあれば送迎時にお話をさせて頂いている ・通所日数が少なく、私の方が認識できていないのかもしれない	・定期的にな面談は行ってないため、保護者の方の希望を伺って行っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				・家庭においての困りがある時は、児発の方でも気をつけて様子を見て頂いている。	・今後も、保護者やお子さんに寄り添った支援をしていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	4	2	・親子遠足はあったが、保護者同士のお話会は今年なかったため、そういった機会がまだあるかという点も。きょうだいへの支援についてはわからない。 ・通所日数が少なく、私の方が認識できていないのかもしれない	・親子遠足のほかにも保護者同士の交流の場を設けたいと思います。きょうだいへの支援も今後計画していきたいです。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	3	1	1	・困りがあれば、相談しやすい感じにしてくれている。	・今後も丁寧に対応していきます。相談や申し入れをお受けする際は整備された体制の基迅速かつ適切に対応していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				・ 今後は、福祉ソフトを取り入れて情報伝達を迅速にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			2		・ 今後もおたよりにて活動の様子や行事予定等をお知らせしていきます。自己評価表はHPにて公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14		1	2	・ 作品展への出品の際も、名前の表記の仕方について、事前に確認の連絡をくれる。 ・ 認識不足によると思います	・ 契約時に個人情報に関する同意書に署名・捺印を頂いております。今後もHPやおたよりの掲載等については十分に注意を払います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3	1	5	・ 大きな災害が発生した時、保護者が施設へ迎えに行くのか等。 ・ 訓練は頻繁にしているようだが、地震の際などの保護者向けのマニュアルはないとの事だったので、作成して頂きたい。 ・ 認識不足によると思います	・ 緊急時対応マニュアル等はある、職員間では共有しています。保護者の方にも知っていただけるように福祉ソフトHUGの導入を進めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		・ 火災及び地震等の災害の避難を毎月法人と一緒にしたり、独自に行ったりしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	1	4	・ 認識不足によると思います	・ 子どもの安全確保が行われるよう日頃より訓練しています。周知については今後進めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		1	・ 大きなケガではなかったのですが、本人と話す内容の為に経緯を知りたいと思う事が数回あった為	・ ケガ等発生した際は、直接保護者の方に連絡し、状況がわかるように説明していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1			・ 子供が先生方に頼る事ができるようになったのは、安心感の表れだと感じている。 ・ 本人の気分や苦手な事の発生によるため	・ 子どもが不安なく、安心して通所できるよう配慮を今後も続けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	4		2	・ 最初は嫌がって泣いていたけど、今では積極的に動き、元気に通所しています。園が本人にとって安心できる場所なんだと感じました。 ・ 朝の機嫌次第で変わったりします。 ・ お迎えがきたらすぐにかけ出し、嬉しそうに先生にあいさつして車に乗るので、楽しいのだらうと、安心して送り出せる。 ・ 本人の気分や苦手な事の発生によるため	・ 安心安定した環境の中で「楽しい」「できた」などの達成感が味わえる保育を提供していきます。また1人ひとりのお子さんに合った適切な支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			・ 幼稚園への通所等による環境の変化により、事業所への通所が本人にとってどうなのかという思いが少しあるため。	・ 今後も、保護者の皆様と一緒にお子さんの良い行動や頑張っているところをたくさん褒めて自信を育んでいきます。次の移行先にスムーズに進んで行けるように、職員一同支援していきます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」		公表日		R7年2月21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・活動内容や年齢に分けるなど部屋を使い分けています。	・ご利用人数に応じて部屋を分けて利用し、情緒にも配慮し調整を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	・職員の配置数が減る場合は、兼務職員が支援に携わっています。	・地域支援など外部に出向く際、一時的に減るので日課の時間調整の必要があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・バリアフリー化しており、安全に配慮しています。状況に合わせて動線を変えて対応しています。	・専門職からアドバイスを頂いて適切な配慮ができるようしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎朝、清掃・消毒を行い、清潔を保っています。	・月に一度環境整備を実施し、安全で活動しやすい空間作りをしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・情緒や個別の活動に合わせて使用できる環境になっています。	・専門職からのアドバイスを基に効果的な利用を考えていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・グループ目標に沿って全員が参画しています。	・課題を出し合い、ご利用児の支援だけに関わらず、業務全般について話し合っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者の意見を尊重し、改善に向けて話し合っています。	・保護者向けアンケートを実施し、全体で共有し業務改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・支援会議を毎月実施し、課題に対して話し合いをしています。	・改善点がある場合は、その都度話し合いの場を設け見直していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・OT・PT・ST・心理等の専門職からの指導を受け改善しています。	・定期的に受審し、業務改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・法人内での内部研修に参加しています。	・専門職派遣を通して資質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・適切な支援を提供できるよう作成をしています。	・公表の準備を進めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・契約時にアセスメント等を通してご利用児の特性に沿った支援計画を作成しています。	・支援者間で共通理解を図り課題設定につなげていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援会議等で支援内容に沿った話し合いを全員で行っています。	・日頃のご利用児の様子を把握し、次への支援につなげていけるよう全体で検討していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・職員間で共有し、計画に沿って個別や集団での対応をしています。	・目標や支援内容を職員全員で把握し、状況に合わせた支援を行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・専門職の様子観察や助言をもとに過去の記録と比較しながら確認を行っています。	・フォーマルなアセスメントの活用を検討していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・保護者から意見を伺い作成し、定期的に見直しを行っています。	・「発達支援」を中心に、ガイドラインに沿って設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・週ごとのリーダーを中心に立案し全員で共有しながら行っています。	・ご利用児一人一人が意欲的に取り組み、達成感が得られるよう立案していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・「認知」「手先操作」「運動」「制作」「リトミック」「SST」「クッキング」等様々な活動を取り入れ固定化しないよう工夫している。	・午後5時の自由遊びの時間を固定化しないよう、子どもの状態に応じて柔軟に行っていきます。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・基本的生活習慣の確立や集団活動を通してコミュニケーション・社会性が身につくよう計画し支援しています。	・保育支援だけでなく、生活面や集団活動の中での課題を立て取り組んでいます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝礼時に確認し、ボードを利用し変更点など確認できるようにしています。	・朝礼時に保育内容・伝達事項など共有し、配慮に努めています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・翌朝の朝礼時に申し送りを実施している。	・当日中に振り返りができるよう努めています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・支援記録に毎日記録している。日々異なる職員が記入するため、様々な視点の記録になっています。	・検証・改善までに至っていないため、今後改善を行っています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・専門職からの情報も活用し定期的に見直しを行っています。	・定期的なモニタリングを行い職員全員で協議していきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児童発達管理責任者が参画しています。	・必要に応じて保育士も参加していきます。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・相談支援専門員を通じて連携をしています。	・医療との連携についても体制を整えています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・必要に応じて行っています。情報を共有し、相互理解を図っています。	・移行支援として保育所等へ訪問し、関係機関連携で相互理解に努めています。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・就学前の会議等を通じて情報共有を行っています。	・担任の先生との相互理解も図れるよう調整していきます。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5		・定期的に専門職からの助言を頂いています。	・外部研修の参加についても機会を増やしていきます。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	5		・管理者が参加しています。	・今後も参加の機会を増やしていきます。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	・並行通園先での交流を検討しています。	・行事参加等を通じての交流の実施を検討していきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日々の様子を連絡帳でやりとりしたり、送迎時を活用して情報を共有しています。必要に応じて電話連絡をし共通理解を図っています。	・今後も丁寧な対応を心掛けていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・家族の要望に応じて、見学や相談をその都度行っています。	・今後、家族が参加出来る研修を開催していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時、保護者の時間が可能な限り1つずつ説明しています。質問等があればその場で対応しています。	・保護者の方の時間が許す限り今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・定期的に面談を行い保護者の意向を確認しています。	・今後も、保護者の意向を丁寧に聞くことを心掛けていきます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・半年ごとに児童発達支援計画を保護者に提示しながら説明を同僚後サインを頂いています。	・保護者の都合の良い時間に合わせて対応し、丁寧な説明を心掛けていきます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・連絡帳や電話などを通してその都度相談に応じています。	・福祉ソフトの導入を始めており、今後は相談等保護者への支援がスムーズに行えるようにしていきます。

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・保護者会は開催できませんでしたが、親子遠足で交流する機会を設けました。	・今後は昨年度行った「おしゃべり会」を早目に計画して開催します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・申入れがあった場合は迅速に対応できるようにしています。	・個人的な相談については、その都度対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・「プリンちゃんだより」を毎月各家庭に配布したり、法人HPにて行事の様子等を掲載しています。	・福祉ソフトにより、タイムリーな情報を発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報のファイルについては鍵付きのキャビネットに保管しています。	・今後も十分に留意して扱っていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・ご利用児には視覚支援カード等を用いた支援を行っています。保護者については電話連絡等で情報伝達をしています。	・今後もスムーズにコミュニケーションがとれるように配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・大神駅に絵や笹飾りを展示し地域の方に活動について知って頂きました。	・来年度は地域の方を招待するような行事を計画します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・マニュアルの周知の仕方について福祉ソフトの活用も検討していきます。	・今後は発生の想定をより明確にした訓練を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・月に1回様々な災害を想定した訓練を計画・実施しています。	・今後も避難の仕方など災害を想定した訓練を行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に服薬や現病歴や既往症について確認しています。	・予防接種について、保護者への確認をしていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に管理栄養士よりアセスメントシートを用いて確認した後、全体で共有しています。	・今後も家庭と事業所が連携をとりながら対応をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し掲示を行っています。	・今後は必要な措置等についても検討していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・こどもの安全確保に関しての計画があり、スムーズに連絡が取れるようにしています。	・福祉ソフトの導入を始めており、家族への周知がスムーズに行われるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・日々記録に残すと共に再発防止会議を行っています。	・結果を検証し対策を講じる等迅速に行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・マニュアルの周知及び外部講師を招いた研修会等に参加しています。	・研修参加及び伝達研修を行うことで新任職員に対する虐待防止の意識付けを継続して行っていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・会議において組織的に決定する体制を整えています。	・今後やむを得ない場合が生じた際は十分な説明と了解をもとに計画に記載していきます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 10 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 6 年 12 月 25 日		～ 令和 7 年 1 月 10 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 10 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが安全・快適に過ごせる生活空間の提供	・食事の部屋、遊びの部屋、保育の部屋など視覚的にも構造化されており見通しを持って集中できる安心安全な環境を提供しています。	・1人ひとりのお子さんが安定した生活を送れるように、その日の活動や様子に合わせた部屋の使い方を考えていきます。
2	・幼児期に力を入れた支援	・就学までのお子さんが安心して生活支援を受けることができるようなプログラムが実践されています。	・専門職(心理・OT・ST・PT)からの利用児や支援内容等についてのアドバイスを支援に活かしていきます。
3	・相談から支援まで総合福祉サポートセンターならではの取り組み	・地域支援の中核センターとして相談員も常駐し、お子さんの様子や支援の進捗状況を共有することができます。	・相談員との情報共有を密にし、よりよいサービスの提供と就学に伴う次の支援への移行がスムーズに行われるようにしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・センターからの情報発信	・センターからの情報発信ツールが確立していないことから、十分な情報発信ができていません。	・現在福祉ソフトHUGの導入を進めています。このシステムが使われるようになると、現代のツールに合った情報提供ができるようになると思われます。
2	・センターと保護者とのつながり	・コロナ禍以降、お子さんのセンターでの様子を見に来れるような日や支援者と保護者と話をする場の設定ができていません。	・開放日や保護者と支援者とのおしゃべり会などを設定して、保護者の方が気軽にセンターに足を運んでくれるような行事を計画します。
3	・保護者支援活動	・コロナ禍以降、保護者同士が集えるような会や保護者向けの勉強会ができていません。	・保護者会を開催したり、専門職による研修会などを計画し、保護者同士のつながりも深まるようなきっかけを作っていきます。